

自己点検・評価表

実施日：令和7年3月14日

学校名：ジェイ ヘアメイク美容専門学校

1. 学校の教育目標

■教育理念

ホスピタリティ精神を持ち、美容技術を身に付けた人材の育成

■教育方針

①豊かな人間性を育む②正しく学び、身につける

■目指す人材像

「礼儀正しい人」「自己管理できる人」「協調性のある人」「素直な人」
「コミュニケーション能力のある人」

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

中退防止および新入生定員の充足

3. 評価項目の達成及び取組状況

1. <教育理念・目標>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
1	1	学校の理念や社会のニーズを反映する教育目的・育成人材像は明確に定められているか	④	3	2	1	学則 入学案内書
1	2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	④	3	2	1	入学案内書 スクールマニュアル
1	3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	4	③	2	1	学則 入学案内書 保護者説明会資料

①課題

入学検討者の保護者に対する説明会を随時行い、入学後には文書にて保護者会を開催して教育理念や学校生活についての注意事項等について共有を図っている。また、保護者向け面談日を設け、希望する保護者に対して対面で質疑応答等ができるようにしている。

国家試験課題だけにとらわれない授業運営を心がけ、卒業後すぐに活躍できる人材の輩出に尽力しており、業界からも評価され始めている。一方で入学前の専門学校選択時にこの特徴を周知しきれていない。

②今後の改善方策

学校説明会やオープンキャンパス等での打ち出し方や説明方法に工夫を凝らし、当校の特徴や特色を理解してもらった上で学校選びができるように情報提供していく。

③特記事項

特になし。

2. <学校運営>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
2	1	教育方針や教育目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	重点方針
2	2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	情報公開（財務関連資料） 重点方針
2	3	学校運営に関する（事業計画、予算編成、教育活動等）に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	④	3	2	1	自己点検・評価報告書 情報公開
2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され、人事、給与に関する規定も含め、有効に機能しているか	④	3	2	1	就業規則・人事考課表 組織図・職務分掌
2	5	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	自己点検・評価報告書 個人情報保護規定
2	6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	情報公開（HP掲載）

①課題

個人情報の取り扱いについては、個人情報保護規定により適切な対応を行っている。学校ホームページやSNSサイトに掲載する写真等の個人情報について学生説明を行っているが、可視化の必要性についても検討が必要である。

②今後の改善方策

写真掲載等について入学時の同意書提出を実施しているが、卒業時についても検討する。

③特記事項

特になし

3. <教育活動>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
3	1	教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	重点方針 カリキュラム表 WEBシラバス 教育課程編成委員会議事録
3	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	カリキュラム表 WEBシラバス
3	3	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	カリキュラム表 WEBシラバス
3	4	講義及び実習に関するシラバスは作成されているか	④	3	2	1	WEBシラバス
3	5	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか	④	3	2	1	授業改善アンケート
3	6	適切な評価体制を有し、授業評価が実施されているか	④	3	2	1	授業改善アンケート
3	7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	教育課程編成委員会議事録
3	8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	スクールマニュアル WEBシラバス
3	9	人材育成目標の達成に向け各授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	教員担当教科課目一覧
3	10	専門分野との連携による優れた教員（本務・兼務含む）を確保するための活動が行われているか	④	3	2	1	教職員研修計画 教育課程編成委員会議事録
3	11	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成等資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1	教職員研修計画
3	12	カリキュラムは自主学習を含む学習時間・学習方法を、学生の生活時間や学習時間に配慮して設計されているか	④	3	2	1	WEBシラバス スクールマニュアル
3	13	講義に関し養成施設として定められたカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	④	3	2	1	WEBシラバス スクールマニュアル 養成施設関連法律
3	14	実習に関し養成施設として定められたカリキュラムあるいはそれに準じたカリキュラムが実施されているか	④	3	2	1	WEBシラバス・スクールマニュアル 養成施設関連法律
3	15	講義・実習等の受講前に学生の能力等に不足がないかを確認するためのアンケートやヒアリングを行っているか	4	③	2	1	入学試験面接記録 個人面談記録
3	16	各実習、実験等に関し、これらに関する倫理・器具の取り扱いについて規則やマニュアルが整備され、公表されているか	4	③	2	1	実習マニュアル
3	17	学生の成績情報等への閲覧権限が適切に設定されているか	④	3	2	1	文書管理規定・学生情報システム(Nacs)権限設定

①課題

美容業界内での就職希望職種が多様化しており、カリキュラムや授業内容について常に検討および変更する必要がある。流行を追いかけるだけでなく、基礎技術向上と学生や社会のニーズを両立する運営が必要と考えている。また近年、基礎学力不足の学生が増えており、国家試験対策に弊害が出てきている。

②今後の改善方策

特に筆記科目について、これまでの国家試験対策よりも早期にスケジューリングし、少しでも余裕をもって受験できるよう学生をサポートしていく。

③特記事項

特になし。

4. <学修成果>		適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1	エビデンス (文書名又は文書番号)		
4	1	4	③	2	1	学校基本調査 内定関連資料
4	2	4	③	2	1	国家試験結果一覧
4	3	4	③	2	1	在籍集計表
4	4	④	3	2	1	SAM規程 小学生おしごと体験
4	5	④	3	2	1	スクールマニュアル 成績証明書・WEBシラバス
4	6	4	③	2	1	講師契約書

①課題

卒業時就職率95.6% 就職活動早期化の波に乗ることができ、国家試験対策へ移行する時期には多くの学生が就職活動を終えていた。
国家試験合格率89.7%（見込み） 特に筆記試験課題について、出席不良の学生を効率的に合格レベルへ到達させる対策が必要。
中退率4.0% 2024年度は2年生に中退者が出たが、1年生中退率には若干の改善が見られた。

②今後の改善方策

引き続き国家試験対策が本格的になる2年次11月までに就職希望者全員が就職活動を終わられるよう就職指導を行っていくと共に、早期に筆記試験対策を行う。
1年次中退率防止策として、グループになりがちな人付き合いの枠を超えた交流会の機会を定期的に設ける。

③特記事項

特になし。

5. <学生支援>		適切：4 やや不適切：2	ほぼ適切：3 不適切：1	エビデンス (文書名又は文書番号)		
5	1	④	3	2	1	スクールマニュアル 保護者会資料
5	2	④	3	2	1	健康診断詳細 専任カウンセラー
5	3	④	3	2	1	奨学金制度・各種制度
5	4	④	3	2	1	担任制度 専任カウンセラー
5	5	④	3	2	1	SAM規程
5	6	④	3	2	1	提携寮紹介 ひとり暮らし応援制度
5	7	4	③	2	1	保護者会資料
5	8	4	③	2	1	卒業生進路管理表
5	9	4	③	2	1	教育訓練講座
5	10	④	3	2	1	高校連携事業内容

①課題

入学後、保護者会を书面開催するとともに、任意での個別面談を設けている。また欠席や遅刻が続く学生に対しては保護者等へ連絡を行い、状況を報告することで協力体制の構築を図っている。また生活状況により三者面談も随時実施している。
卒業生の転職活動について、申し出のある卒業生へは手厚い協力を提供できる一方、勤務状況の把握については課題が残る。

②今後の改善方策

中退防止に向けてチームティーチングを導入し、日々の出席状況を共有しながら状況に合わせて保護者連絡と面談を実施する。OB・OG会を実施し、現況把握や再就職・転職のサポート体制について広く周知し、卒業後も学校を利用してもらえるように働きかける。

特になし

6. <教育環境>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	施設設備リスト 時間割表
6	2	防災に対する体制は整備されているか	④	3	2	1	緊急地震マニュアル 備蓄品一覧
6	3	実習室には設置要件に則した器具や機器、設備が備わっているか	④	3	2	1	器具・設備リスト
6	4	実習を行うための実習室が十分に備わっており、また支障なく運用できる状態になっているか	④	3	2	1	時間割表 備品リスト
6	5	自己学習に必要な図書室ないし図書スペース及びコンピュータが利用できる環境を設置しているか	4	③	2	1	教育プロジェクト議事録
6	6	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	④	3	2	1	備品リスト
6	7	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	④	3	2	1	時間割表 設備予約システム
6	8	海外研修制度はあるか。またその際の学生への指示、教育は十分に実施しているか	4	③	2	1	

①課題

タブレットを利用した授業を導入していることで、WiFi環境の整備も進む一方、端末を充電するための設備環境については席数や充電口数が足りていない。また、高価なタブレットの管理方法について課題が残る。

②今後の改善方策

充電スポットの増設に向けて審議していく。クランプ式のタブレットホルダーを机に常設しているため、落下防止の観点からも活用を促すと共に、持ち運びの際には十分な注意喚起を徹底する。

③特記事項

6-8海外研修は実施していないが、国内外の美容関連企業と連携した授業を実施している。

7. <学生の受入れ募集>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	入学案内書・募集要項 入学時関連ツール
7	2	学納金は妥当か	④	3	2	1	募集要項 公式ガイドブック
7	3	障がい等、特別な措置が必要な学生への対応を定め、共有しているか	4	③	2	1	学生情報システム (Nacs)

①課題

ここ数年は早期に募集定員に達する傾向にあり、本校の特徴が少しずつ認知されてきている。一方で、高校の部活動等の理由により進路活動が遅くなった高校生が入学を希望しても、募集定員に達している場合は断ざるを得ない。

②今後の改善方策

経済的な理由で進学を諦めることがないように、進学検討者に対してオープンキャンパス等で説明を行い、必要に応じて個別対応を実施する。
また募集定員については検討する必要がある。

③特記事項

特になし。

8. <財務>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
8	1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1	財務関連資料
8	2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1	予算関連資料
8	3	財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1	会計監査関連資料
8	4	財務情報の公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	情報公開 (HP)

①課題

特になし。

②今後の改善方策

特になし。

③特記事項

特になし。

9. <法令等の遵守>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)	
9	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	学則・文書管理規定
9	2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1	個人情報保護規定 (プライバシーポリシー)
9	3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1	学校関係者評価表
9	4	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	情報公開 (HP)
9	5	教職員の職務記述書を作成し、これらを適切な間隔で見直しているか	④	3	2	1	人事考課表
9	6	評価目標ならびに想定される評価範囲を整理し、記述できているか	④	3	2	1	人事考課表・人事規定
9	7	教職員に対する評価方法、評価スケジュール及び評価の考え方が書類として存在するか	④	3	2	1	人事考課表・人事規定

①課題

特になし。

②今後の改善方策

特になし。

③特記事項

学園全体での内部監査体制整備に向け、プロジェクト設置及びシステム検証を行う。

10. <社会貢献・地域貢献>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
10	1	4	③	2	1	SAM規程 キッズハッピープロジェクト

①課題

特になし。

②今後の改善方策

特になし。

③特記事項

特になし。

11. <国際交流（必要に応じて）>		適切：4 ほぼ適切：3 やや不適切：2 不適切：1				エビデンス (文書名又は文書番号)
11	1	4	3	2	1	
11	2	4	3	2	1	

①課題

特になし。

②今後の改善方策

特になし。

③特記事項

留学生の入学実績なしのため、11. 国際交流については自己評価の対象外とする。
日本の法律では美容師の資格を取るのに国籍は問われません。
但し、日本で美容師として就労する場合は「在留資格」が必要になります。
(国家戦略特別区域外国人美容師育成事業が開始しますが、就業可能期間が5年と限定的です。)